

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 21日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県掛川市長谷1120

氏名 株式会社資生堂掛川工場

長谷川修嗣

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0537 - 24 - 1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社資生堂掛川工場		
事業場の所在地	静岡県	掛川市	長谷1120
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	その他の製造業
② 事業の規模	化粧品生産量 10,100万個/年
③ 従業員数	900名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	委託処理のため自社処理はなし

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(1) 責任者及び管理組織図

■統括責任者 掛川工場 工場長：長谷川 修嗣

■廃棄物関係者

製造部長（環境管理責任者）：恩田 賢二

設備管理グループマネージャー：菅沼 謙一

担当者：照沼 大輔

(2) 役割

■工場経営会議：

①環境方針、目標の審議・承認

②産業廃棄物量及びリサイクル率目標値の審議・承認

③産業廃棄物に係わる経営資源配分の審議・承認

■環境保全委員会：

①目標に関する活動計画と実績の審議・承認

②産業廃棄物量及びリサイクル率に関する活動計画と実績の審議・承認

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	4,404.000 t
	廃プラスチック類	118.000 t
	廃油	7.000 t
	木くず	7.000 t
	金属くず	5.000 t
	(これまでに実施した取組) ■廃プラスチックの有価引取（2022年1月～） ■樹脂製パレット/木製パレットの有価引取（2024年1月～） ■リユース活動の推進	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	4,280.000 t
	廃プラスチック類	110.000 t
	廃油	5.000 t
	木くず	2.000 t
	金属くず	3.000 t
	(今後実施する予定の取組) ■リユース活動の継続推進 ■不要設備などの売却推進 →廃棄物排出量の低減	

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥（排水処理汚泥、排水貯留槽汚泥、粉末、廃半製品、乾電池等）、 廃プラスチック類（軟質、硬質）、廃油、ガラス屑等、木くず等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥（排水処理汚泥、排水貯留槽汚泥、粉末、廃半製品、乾電池等）、 廃プラスチック類（軟質、硬質）、廃油、ガラス屑等、木くず等

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
①現状	汚泥（泥状のもの）	0.000 t	4,318.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量
	汚泥（泥状のもの）	0.000 t	4,000.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	汚泥（泥状のもの）	0.000	0.000	0.000	0.000	86.000
	廃プラスチック類	0.000	0.000	0.000	0.000	118.000
	廃油	0.000	0.000	0.000	0.000	7.000
	木くず	0.000	0.000	0.000	0.000	7.000
	金属くず	0.000	0.000	0.000	0.000	5.000
（これまでに実施した取組） ■ 廃プラスチックの有価引取（2022年1月～） ■ 樹脂製パレット/木製パレットの有価引取（2024年1月～） ■ リユース活動の推進						

		【目標】				
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
②計画	汚泥（泥状のもの）	0.000	0.000	0.000	0.000	80.000
	廃プラスチック類	0.000	0.000	0.000	0.000	110.000
	廃油	0.000	0.000	0.000	0.000	5.000
	木くず	0.000	0.000	0.000	0.000	2.000
	金属くず	0.000	0.000	0.000	0.000	3.000
	（今後実施する予定の取組） ■リユース活動の継続推進 ■不要設備などの売却推進 →廃棄物排出量の低減					
	※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。